

令和2年7月1日時点

## 全建総連における新型コロナウイルス感染症による影響とりまとめ

### (1) 調査対象

全国の組合員に対して、影響をヒアリング。調査期間は6月～7月を中心に、直接聞き取り・WEBアンケート方式で実施（途中集計）。

### (2) 調査結果

○収入への影響（月収の減少状況・前年同月比）

（回答数：4134人）

1～2割減	1562人	(37.7%)
3～4割減	818人	(19.7%)
5割以上減	1579人	(38.1%)
変化なし	175人	(4.2%)

○全体相談件数 4975件（助成金・給付金、融資制度、工事中断等）

（助成金・給付金等について）

- ・持続化給付金 2,556件
- ・雇用調整助成金 520件
- ・地方自治体の給付金 250件
- ・その他 86件

（融資関連について）

- ・申請して融資を受けた 70件
- ・申請中 105件
- ・申請したが断られた 9件

（工事の一時中断・補償について）

- ・補償があった 5件
- ・補償はなかった 228件
- ・工事中断は無かった 455件

（感染防止対策に伴う工事代金の追加変更・工期延長等について）

- ・認められている 47件
- ・認められていない 119件
- ・現時点ではわからない 512件

（7月以降の賃金・単価（売上）の見通しについて）

- ・上昇の見込み 29件
- ・低下の見込み 183件
- ・変わらない 241件
- ・わからない 245件

(新型コロナの影響で主に困っている事)

・仕事の減少、生活資金、工期等の遅れ、現場の感染防止対策、資金繰り

(3) 現場の課題・意見・要望など

- ◎大きい現場は作業員も多く、感染の不安は消えない。
- ◎荷の上げ下ろし時にマスクと手袋着用が続くので、作業効率の低下と熱中症の危険性が高まる。
- ◎夏のマスク使用の現場作業向けマニュアルがあれば助かる。
- ◎第二波により、また設備機器の供給が止まると非常に困る。
- ◎在宅勤務や自宅待機が増えたため、近隣住民から作業音で苦情が来る。
- ◎コロナ感染となった場合、報告すると仕事を切られないか心配。
- ◎コロナ感染防止対策等に伴う、工事代金の追加、工期延長、休業への補償等がされるか心配している。
- ◎施主の財布が締まり、一般住宅の小さな工事依頼が減っている。
- ◎内覧会と営業が思うようにできず、7月からの仕事がまったくくない。
- ◎今後を見通せず施主が工事にふみきれない。人との接触を避けたがるため打ち合わせも捗らない。

(4) 行政に対する要望など

- ◎各種支援制度を顧問税理士でも詳細を把握しておらず、自分で調べられない状況。更なる情報の周知等をお願いしたい。
- ◎給付金の条件を緩和し、中小零細企業へ無条件に給付して欲しい。
- ◎国が建設業、個人事業主を守る制度を創設して欲しい。